

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

企業理念

エンジニアリングとサービスを通じて、人に信頼され、社会に貢献する。

連結売上高
3,800億円連結営業利益率
7.4%自己資本比率
42%ROIC
9%

② 中長期の経営戦略

1. 中核事業の更なる成長

船用推進システム事業と物流システム事業を軸に、アンモニア焚きエンジン開発やLNG・メタノール焚きエンジン、水素駆動クレーンなどで脱炭素化対応を強化。

2. 新規事業の展開

船体汚損コントロール手法「FALCONS」の提供、水素供給施設やSAF製造向け製品供給、ドローン点検やデジタル技術活用の保守メンテナンスサービスを推進。

3. グリーン・デジタル視点の進化

船用推進システム・物流システムを「グリーン」と「デジタル」の視点から発展させ、環境対応型製品や自動化・遠隔化技術の開発・展開を強化。

4. 資本効率の向上

ROICがWACCを上回る姿を目指し、限界利益/固定費の適時評価を軸に資本効率と企業価値向上に注力。

③ 対処すべき課題

① 脱炭素社会への急速な移行

- ・ 2030年度までにCO2削減1,000万t-CO2/年以上を目標に環境対応製品開発に注力
- ・ グリーン電力拡大で生産活動のCO2削減1.0万t-CO2/年以上を実現
- ・ アンモニア・LNG・メタノール焚きエンジンなど海上物流の脱炭素化に対応

② 人口縮小社会への対応

- ・ 港湾関連製品の自動化・システム化を2030年度までに1,000件以上の導入を目指す
- ・ ドローン点検やデジタル技術による保守メンテナンスサービスで労働力不足に対応
- ・ 港湾ターミナルの運営効率化で人口縮小社会の課題解決を推進

③ 事業環境の急激な変化への対応

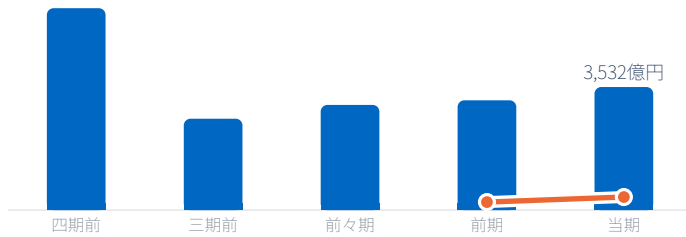
- ・ ローリング方式による中期経営計画で常に更新し続ける成長姿勢を実現
- ・ 為替や市況変化の中で持続的成長を実現する経営体制を構築
- ・ 事業基盤強化と変化への柔軟な対応で企業価値向上を継続

面接で使えるポイント

- ・ 船用エンジン・港湾クレーン国内シェアトップとしてのリーディングカンパニーの責務を自覚し…
- ・ 2030年度までにCO2削減1,000万t-CO2/年以上と港湾自動化1,000件以上という具体的目標を掲げ…
- ・ ローリング方式の中期経営計画により3年後の目標を固定せず常に更新し…

証券コード 7003

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
3,532億円営業利益率
10.7%財務健康度
43点 / 100点

将来性 晴れ時々曇り / 就活偏差値 53.7（当サイト算出の参考指標）

平均年収
802万円

機械内 37位/208社

平均年齢
40.2歳

機械内 174位/209社

平均勤続
16.3年

機械内 85位/209社

女性管理職
4.0%

機械内 88位/168社

男性育休
93.0%

機械内 52位/169社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

